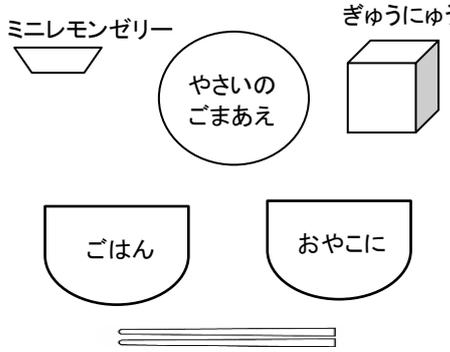
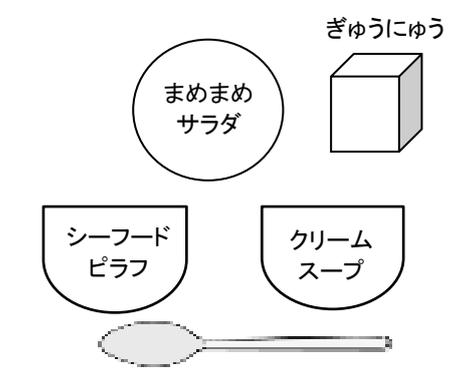
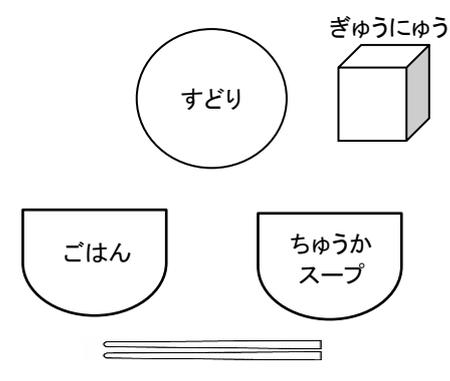
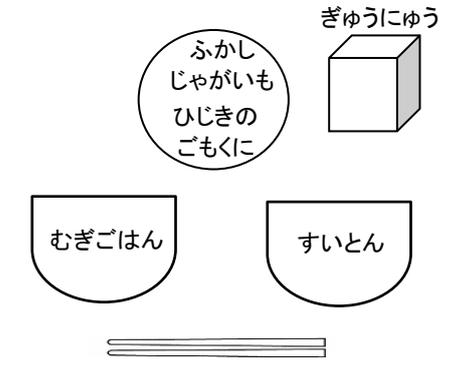
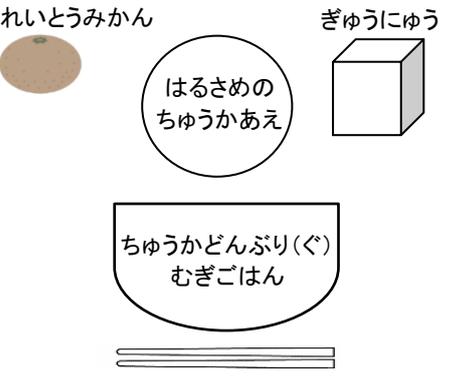


(配膳図)

ひとくちメモ

<p>六月二十八日(月)</p>		<p>○ごま</p> <p>ごまは、皮の色によって「白ごま」、「黒ごま」、「金ごま」に分けることができますが、栄養成分的にはほとんど差が無く、料理によって使い分けをしていることが多いようです。今回は白ごまをたっぷり使用して、野菜のごまあえを作りました。</p>
<p>六月二十九日(火)</p>		<p>○枝豆</p> <p>枝豆は、大豆になる前の未熟な豆で、枝に実を付けたまま茹でて食べたところから「枝豆」と呼ばれるようになったようです。また、大豆になる前の未熟な時に茹でて食べているのは、日本や中国の一部の地域だけのようで、多くの国では、大豆になるまで栽培をして食べているようです。今回は枝豆と大豆、そして、ひよこ豆を使ってサラダを作りました。</p>
<p>六月三十日(水)</p>		<p>○食事のマナー「後片づけ」</p> <p>みなさん、給食の後片づけがきちんとできていますか？ 食器に食べ物が残ったまま片付けている人はいませんか？ はしやスプーンの向きをそろえて容器に入れていませんか？ お盆にストローなどが残っていませんか？ 給食では割れやすい陶器の食器を使っているので、やさしく食器かごに入れてくださいね。</p>
<p>七月一日(木)</p>		<p>○呉空襲犠牲者慰霊・恒久平和記念の日</p> <p>この日のひとくちメモは裏面にあります。</p>
<p>七月二日(金)</p>		<p>○冷凍みかん</p> <p>冷凍みかんは、冬から春先までしか売れなかったみかんを、一年間を通して販売することができる商品にしたいと思ひ、今から65年前に、神奈川県にある小田原駅の売店で販売したのが最初と言われています。 冷たくてさっぱりしている冷凍みかんは、これからの時期におすすめの果物です。</p>

○7月1日のひと口メモ

しょうわ ねん がつついたち よなか ふつか くれ まち くうしゅう
昭和20年7月1日の夜中から2日にかけて、呉の町は空襲を
う 受け、まち たいへん ひがい う おお ひと な ひと
受け、町は大変な被害を受けて多くの人々が亡くなり、人びとは
とてもつらい思いをしました。このことから呉市では7月1日
を「くれくうしゅうぎせいしやいれい こうきゅうへいわきねん ひ さいだ
を「呉空襲犠牲者慰霊・恒久平和記念の日」と定めています。
きょう へいわ かんが くれくうしゅう ぎせいしや めいふく いの
今日は平和について考え、呉空襲の犠牲者の冥福を祈りましょ
う。

きょう きゅうしょく とうじた もの すく すこ くらふく
今日の給食は、その当時食べ物がとても少なく、少しでも空腹
をみたすためにとよくつくられていた、汁の中に水で溶いた小麦
粉のだんごがはい 「すいとん」や、ふ 蒸かした「じゃがいも」
をこんだて とり 入れてあります。今回は こんかい えいよう など かんが や
さい 菜をたっぷり入れた「すいとん」、もしお あじ つ 付けた「蒸かし
じゃがいも」、そして、むぎ 麦ごはん、ひじきの ごもくに きゅうにゅう
五目煮、牛乳もあ
ります。

おなか いっぱい た 食べられることに かんしゃ をして、きゅうしょく あじ
ながら 食べて ください ね。